

志士佐田秀隠棲地 石碑

この石碑は、昭和十五年、宇佐史談会により建立されたものです。志士佐田秀がここに隠棲して、勤皇討幕の密計を練っていた処と云われています。

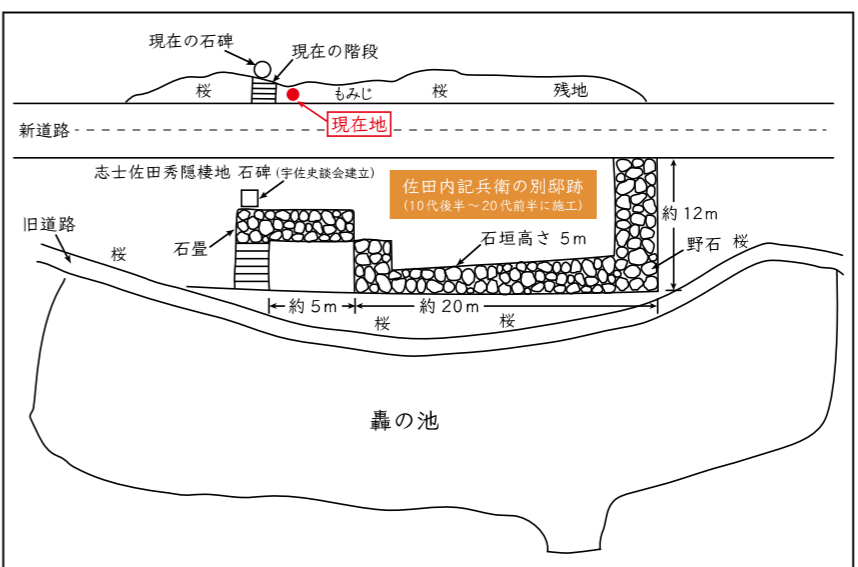
宇佐史談会

大正十年、郷土史家小野精一氏により創設されました。

小野氏は宇佐郡下乙女村（現、宇佐市大字下乙女）出身。大正七年、文部省検定教員試験で日本史、東洋史を専攻し宇佐中学校（現宇佐高校）に赴任して、昭和九年同中学校を退職されました。

宇佐中学赴任中には、古文書・古記録の調査を精力的に行い、雑誌「宇佐史談」や「大字佐郡史論」「続大字佐郡史論」など多くの郷土史を刊行しました。その他の刊行物として、大正十年「御許山勤王記」、昭和三年「御許騒動記」、昭和七年「佐田秀歌集」、昭和十四年「御許山義拳録」、佐田秀歌集「改訂増補版」があります。

宇佐市民図書館／郷土史家小野精一展（平成十三年三月）より



令和四年十二月吉日 内川野区長 佐田則昭